

事業計画

事業名	「まつどの介護」プロモーション事業
団体名	特定非営利活動法人 SmileResource
事業担当課	介護保険課

事業概要

松戸市の介護（介護制度）を動画化しプロモーションすることで、“介護の見える化”を図り「分かりやすく利用しやすい松戸の介護」の促進を目指す事業を実施する。

松戸市の課題

私たちの取組は、介護離職者を一人でも増やさないことをミッションに、松戸市に整備された介護（介護制度）を“如何に市民へ分かりやすく伝えるか”が狙いです。

課題①「市民への周知度向上」

松戸市の介護（介護制度）は手厚く多くの資源が準備されています。（まつど de いきいき高齢者サイト参照）

しかし、市民の「松戸の介護」に対する認知度は決して高いものではありません。私たちのひとり一人の生活の背景には、福祉と介護という人生がいずれ身近になってきます。そのためにも、松戸市の介護（介護制度）の存在をもっと市民に理解し易く伝えることが必要となっています。

課題②「若者の力をもっと活用したい」

地域における高齢者支援（地域活動）は高齢者が支えている印象がありますが、是非、若い人材の力を活かす取組が必要です。

これからの福祉活動の啓発には、ホームページや SNS といったツールが有効であり、生活の一部として利用している若者の参画がとても重要視されます。老若男女問わず、それぞれの立場で手を取り合い、高齢者福祉の課題を松戸市民全体で支えていく体制をより強固なものとするのが求められています。

事業の目的

この事業は次のことを目的として進めていきます。

キーワードは、「いつでもどこでも手軽に、松戸市の介護制度情報を“見る、知る、聞く”ことができる」

課題①の解決策と目的

令和 3 年度に引き続き、松戸市の介護制度を動画化することで、「具体的な介護制度の利用方法・サービス内容が理解し易くなり、介護が必要となっても慌てずに準備ができる」そのような松戸市の介護を市民へ伝えていくことです。

課題②の解決策と目的

市内外に問わず、介護の資格取得を目指している学生さんら（高校性、専門学校生、大学生等）に動画制作へ参画していただくことで、活動の中で“松戸

	の介護”について実体験を伴って学べ、高齢者支援に参加できる機会をつくることです。																						
事業内容	1 事業内容 市内に幅広く整備されている介護支援体制（行政、事業、市民活動等）をプロモーションビデオ（PV）化し、下記 YouTube チャンネルにアップロード。 「松戸の介護の見える化」を図る ○YouTube チャンネル ・介護保険課まつど DE 介護ちゃんねる ○介護支援体制の PV 化 ・松戸市内の事業所や市民活動の取組等に訪問し、以下の動画を撮影 介護サービス等の状況（サービス実施内容や情報提供等） 事業の取組内容（見守り活動、体操、認知症啓発、外国人人材の活動等） 事業所の位置（周りの環境等） ・撮影スタッフ 団体スタッフ 1～2 名 ＋ 学生ボランティア 1～2 名 ＊学生さんは担当課と協力の上、学校等へ直接依頼し募集します。 ・動画制作に要する機材 スマートフォン、デジタルカメラ、動画編集ソフト、インターネット接続機器、その他機材（マイク、三脚等） ・主に取材、撮影する種別 介護施設、通所事業所、訪問系事業、福祉用具事業所等 ・事業周知のためチラシ作成（市内事業所等へ配布） 2 スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>具体的な取り組み</th><th>実施体制、対象、場所など</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td><td>各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催</td><td>スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画</td></tr> <tr> <td>5-8</td><td>動画制作 目標 4 本～</td><td>スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等</td></tr> <tr> <td>9</td><td>企画振り返り 上映会の企画、開催</td><td>スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所等</td></tr> <tr> <td>10</td><td>各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催</td><td>スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画</td></tr> <tr> <td>11-2</td><td>動画制作 目標 4 本～</td><td>スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等</td></tr> <tr> <td>3</td><td>企画振り返り、予備月</td><td>スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所など</td></tr> </tbody> </table> 3 新型コロナウイルス感染対策としての取組 撮影前の体調管理 撮影時のマスク、消毒の徹底 緊急事態宣言中の撮影の自粛（施設系、通所系、訪問系の撮影自粛）		月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催	スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画	5-8	動画制作 目標 4 本～	スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等	9	企画振り返り 上映会の企画、開催	スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所等	10	各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催	スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画	11-2	動画制作 目標 4 本～	スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等	3	企画振り返り、予備月	スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所など
月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																					
4	各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催	スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画																					
5-8	動画制作 目標 4 本～	スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等																					
9	企画振り返り 上映会の企画、開催	スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所等																					
10	各団体へ協力お願い、ボランティア説明会の開催	スタッフ及び担当課にて、各拠点で実施 ＊ZOOM による説明会も企画																					
11-2	動画制作 目標 4 本～	スタッフ及びボランティア、各拠点又はスタジオ等																					
3	企画振り返り、予備月	スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所など																					

事業の目標	①初年度の動画制作予定数は年間 15~20 本でしたが、製作時間とコロナ禍での活動を体験した上で制作本数を調整しています。 ☑年間制作数（目標） 年間 8~10 本 「種別ごとの介護」や「介護支援体制」を 5 分程度の P V として制作 *事業年 3 年間を通じて、30 種別の動画を制作する目標は変更なし ②介護を学ぶ、介護の興味のある学生ボランティアの募集 ☑年間 5 ~10 名 ③事業の普及啓発 ☑松戸市広報への掲載 1 回／上映会 1 回～／事業チラシの郵送 介護事業所等
協働の必要性 （団体）	この取組にて制作された動画を沢山の方々に視聴いただきたいと思います。市民以外にも介護系専門職の方や介護福祉士養成校等の先生や学生の方、そして介護の仕事に挑戦してみようと考えている方にも是非、見ていただけると嬉しいです。結果、松戸市の介護制度が周知され、介護離職の減少につながることを夢に描いています。 今後、沢山の方に動画を視聴いただくには団体独自だけでは厳しく、市と協働の関係性で活動すること（特に広報活動において）が必要です。
協働の必要性 （市）	すでに市の取組として、介護保険制度のガイドブックの作成及び配布、ホームページでの周知等を行っています。新たな媒体として動画を取り入れることによって、より市民に分かりやすい情報を提供することができると考えています。 動画の作成にあたっては、介護現場の生の声を拾う必要があるため、介護現場に精通している当該 NPO 法人と協働で事業を行うことで、より幅広い視点からまつどの介護を発信することが期待できます。
事業実施の役割 分担	①団体 ・総合企画（取組企画、各関係者・団体との連携等） ・動画制作（撮影、編集、ボランティアとの打ち合わせ等） ・広報活動（PR チラシの製作、動画制作に関する宣伝等） ②担当課（介護保険課） ・企画を進めるために必要となる団体等への紹介 ・広報活動（広報まつどへの掲載、上映会の場の提供等） ・動画制作に関する監修
今後の展望	事業開始から 3 年間をかけて、目標する制度を動画化したい。 多くの学生ボランティアさんらと活動することで、介護の仕事、高齢者福祉への理解を深めてもらいたい。 そして、介護に直面したときに、必要な介護の情報を市民が気軽に見ること、調べることができる動画づくりをすることで、介護が必要となっても暮らしやすい街にしていきたい。

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 244,200	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 29,300	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 29,300	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 263,700	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 293,000	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	使用料および賃借料	¥ 100,000	動画編集ソフト（ライセンス料） 10,000円/年 撮影機材 カメラ（リース代） 5,500円×12ヶ月 ZOOM使用料（会議用） 2,000円×12ヶ月
	消耗品費	¥ 43,000	資料作成用インク代 3000円×3セット コピー用紙代 3000円×3箱（15,000枚） アルコール消毒液 2000円×2個 SDカード 2500円×2個 ラベルシート 2500円×2個 角2封筒（印刷込み） 35円×200枚 長形3封筒（印刷込み） 20円×200枚
	食糧費	¥ 16,000	撮影時のお茶代（ボランティア用） 菓子代 (1回) 2,000円×8回
	印刷製本費	¥ 6,000	動画案内のチラシ 6円×1000部
	通信運搬費	¥ 93,000	動画編集用インターネット利用料 月6,000円×12ヶ月 郵便代ゆうメール 140円×150力所
	委託料	¥ 35,000	チラシデザイン料 35000円×1回
	対象経費の合計 (E)	¥ 293,000	
(その他経費)			
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 293,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	会議・打ち合わせ ZOOM (12回)	55,500 円	5 人 × 1 h × 12 回 × 925 円
	撮影企画準備	44,400 円	3 人 × 2 h × 8 回 × 925 円
	撮影	88,800 円	3 人 × 4 h × 8 回 × 925 円
	編集	44,400 円	1 人 × 6 h × 8 回 × 925 円
	ボランティア説明会	5,550 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 925 円
	説明会準備	5,550 円	3 人 × 1 h × 2 回 × 925 円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
合 計 (A)		244,200 円	